

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管局・部・課	都市整備局河川公園部水環境課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

1 指定概要

指定管理施設	名 称	水環境館	施設類型	目的・機能
	所 在 地	北九州市小倉北区船場町1番2号		
	設置目的	川・自然・環境について理解を深め、楽しく遊んで学べる体験型学習施設として設置		
利用料金制の状況		非利用料金制 ・ <u>一部利用料金制</u> ・ 完全利用料金制		
指定管理者	名 称	玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体		
	所 在 地	北九州市小倉北区堺町一丁目6番15号		
指定管理業務の内容		・ 施設の管理に関する業務 (建物の保守管理・保安、施設の補修、付随施設の設備管理) ・ 施設の運営に関する業務 (施設利用の受付、館内案内・展示物説明) ・ その他 (イベントの実施、その他市が指示する事項)		
指定期間		令和7年4月1日～令和12年3月31日		

【参考：評価レベル】

評価 レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%	↑	要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%	↓	要求水準・目標・計画を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準・目標・計画を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

2 評価結果

評価項目	指定管理者 の自己評価	市（所管局） の評価	市（所管局）の評価理由 ※指定管理者の自己評価との 相違理由 など	配点	得点 （評価結果）
	（評価レベル：0～5）			（100点満点）	
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				50	47
（1）施設の設置目的 の達成	5	5	施設を最大限に活用したイベント開催や積極的な広報活動により、利用者数の実績が要求水準を大きく上回ったため。	35	35
（2）利用者の満足度	4	4	展示やイベント等により、利用者を楽しませる取組みが実施され、利用者満足度が93%であり、利用者から高評価を得られているため。	15	12
2 効率性の向上等に関する取組み				30	20
（1）経費の低減等	4	3	経費を低減するための十分な取組みがなされているものの、水道光熱費の高騰等により、計画と同程度の実績となったため。	20	12
（2）収入の増加	4	4	自主事業収益を安定させるための取組みを行っており、そこで得た利益の多くを指定管理事業に還元しているため。	10	8
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み				20	16
（1）施設の管理運営 （指定管理業務） の実施状況	4	4	市民センターや学校への講師派遣による地域との連携や、JICAや企業等の視察の受け入れ等を積極的に行っているため。	10	8
（2）平等利用、安全 対策、危機管理体制 など	4	4	リスク管理の意識が高く、実効性のある運用がなされている。災害時の緊急対応マニュアルの整備や自然体験運行規定の策定等、危機管理体制の構築及び安全対策の徹底を行っているため。	10	8
【参考：総合評価ランク】 A：優れていると認められる（80点以上） B：やや優れていると認められる（70点以上80点未満） C：適正であると認められる（60点以上70点未満） D：努力が必要であると認められる（50点以上60点未満） E：かなりの努力が必要であると認められる（50点未満）				合 計	100 83
				総合評価ランク （A～E）	A

【総合評価】 ※指定管理者の特筆すべき功績及び努力を求める点等を踏まえ、総括的に記入してください。

昨年度までの経験を十分に活かし、利用者のニーズに応じた新企画イベントの開催や、SNS等を活用した広報活動の強化等に努めた。その成果として、年間利用者数が要求水準・目標・計画を大きく上回り、施設を最大限に活用した適切な管理運営がなされた。また、利用者満足度は93%と高く、利用者から高い評価を得ている。

さらに、施設の管理運営にとどまらず、市民センターや学校、JICA、企業等に対し、川の魅力や環境学習に関する出前講座・研修受入れを実施しており、地域との連携・協働や地域社会への貢献を積極的に行っている。

【北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見】

適正に評価されている。

施設のテーマに沿った物販といった収益の安定化の努力をしている。今後も指定管理者と協働で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。

＜参考＞現指定期間中の評価結果

区 分	R7年度 (1年目)	R8年度 (2年目)	R9年度 (3年目)	R10年度 (4年目)	R11年度 (5年目)	平 均
評価結果 (合計得点)	83	—	—	—	—	83

※高評価のインセンティブ（更新制）について

- ▶1～3年目の平均点が75点以上の指定管理者（指定期間5年間の事業者に限る）について、1期に限り指定の更新（+5年間）を認めるもの。

※低評価のペナルティ（次期選定時の減点）について

- ▶最終年度を除く全指定期間中の平均点が59点以下の指定管理者について、同指定管理施設の次期選定時の審査において減点（総合得点から10点または15点をマイナス）するもの。

事業報告書（指定管理者による自己評価）

1 指定管理施設及び指定管理者の概要

指定管理施設	名 称	水環境館
	所 在 地	北九州市小倉北区船場町1番2号
指定管理者 （自己評価者）	名 称	玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体
	所 在 地	北九州市小倉北区堺町一丁目6番15号
指定期間		令和7年4月1日～令和12年3月31日
事業報告（自己評価）の 対象期間		令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 企画提案事業・自主事業の実施状況（対象：自己評価の対象期間）

企画提案事業	応募時提案 （□にレ点）	実施の有無 （○・×）	備 考 （補足説明等）
企画展事業	☒	○	
定期イベント事業（流域発信）	☒	○	
川と水の音楽会事業	☒	○	
	☐		
	☐		
	☐		
	☐		
自主事業	応募時提案 （□にレ点）	実施の有無 （○・×）	備 考 （補足説明等）
プログラム事業	☒	○	
カフェ事業	☒	○	
物販事業	☒	○	
カプセルトイ・クレーンゲーム事業	☒	○	
	☐		
	☐		
	☐		

※応募・申請時の提案書や毎年度の事業計画書等に記載の事業を記入してください。

3 自己評価結果

評価項目及び評価のポイント		自己評価				
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み						
(1) 施設の設置目的の達成		評価レベル (0～5)				
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。		5				
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。						
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。						
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						
令和7年度の年間利用者数は前年度と比較し 12,989 人 (6.02%)増加しており、要求水準、目標値とも上回る結果となった。この利用者数は、開館した平成12年度に次ぐものであり、ここ数年は毎年1万人程度利用者数が増え続けている。特に、土日や祝日のイベント開催日は利用者数が多く、2,000 人を超える日もある。また、平日も中学校の団体利用が増え、700 人に達する日もあった。 このように入館者が増えている要因は、口コミや SNS で水環境館の魅力が広がっているためと考えられる。他にも、広報活動として、公式ホームページや公式 SNS の更新（週1～2回程度）・広告チラシへの掲載（月3回程度）等によるイベント情報の発信や、新聞やテレビ出演等を通して水環境館をアピールしている。さらに、団体利用者を増やすため、小学校・中学校への出前講演も年9回実施した。 提案時よりも高い年度ごとの目標を定め、入館者数の増加に向けて取り組んでいる。						
(単位：人)						
【利用者数】	令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
要求水準	180,000	190,000	190,000	190,000	190,000	190,000
提案時目標値	－	206,000	207,000	208,000	209,000	210,000
事業計画書 目標値	205,000	220,000	227,000	228,000	229,000	230,000
実績	215,737	228,726	－	－	－	－
※ ・・・評価対象年度						

(2) 利用者の満足度							評価レベル (0～5)
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。							4
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。							
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。							
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。							
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。							
[評価の理由、要因・原因分析]							
利用者アンケートの結果は、展示内容・イベント、館内施設、清掃や居心地等の項目において、目標値 100%は達成しなかったものの、すべての項目において 90%以上を達成した。特に今年度は、令和 6 年度に低かったカフェの評価を上げることに力を入れ、結果として満足度が上昇した。これは、カフェのポップアップ出店や新メニューの提供等による成果だと考える。							
来館回数については、10 回以上訪れている人が全体の 40%を占めており、リピーター率が高いことが分かる。							
アンケートの自由回答欄には、無料でこのような展示が見られることができる施設があることは北九州市として誇らしいという声もあり、アーバンネイチャー北九州としてのアピールが出来ていると考えている。							
Google の口コミには無料で気軽に入館できるミニ水族館だと高評価を得ている。							
【満足度】		令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
展示内容 イベント	目標値	100. 0%	100. 0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績	95. 0%	93. 0%	—	—	—	—
館内施設	目標値	100. 0%	100. 0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績	90. 0%	95. 0%	—	—	—	—
カフェ	目標値	100. 0%	100. 0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績	83. 0%	90. 0%	—	—	—	—
清掃や 居心地	目標値	100. 0%	100. 0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績	92. 0%	95. 0%	—	—	—	—
売店 グッズ	目標値	100. 0%	100. 0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績	90. 0%	90. 0%	—	—	—	—
有効回答数		208 人	169 人	—	—	—	—
※ ・・・評価対象年度							

2 効率性の向上等に関する取組み							
(1) 経費の低減等							評価レベル (0～5)
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。							4
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。							
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。							
[評価の理由、要因・原因分析]							
指定管理業務経費全体では、予算比 98.9%、348 千円減となり、経費を減少させている。主な経費削減の取組みとして、アルバイトの人数を1名削減したことで、人件費の増加を抑制することができた。							
日常の清掃は水環境館の職員が行い、共同企業体を構成する企業が機械清掃、維持管理を行っており、また、建物全体を管理することで、設備ごとに別々の業者に依頼していないため、効率的な維持管理が実現できている。							
さらに、大型観察窓の清掃は、前期は専門事業者と職員で分担して行っていたが、当期はすべて施設職員にて実施しており、経費縮減に大きく貢献した。							
電気代の値上げで水道光熱費が増加したが、エアコンの間引き運転などを行い、値上げによる影響を可能な限り軽減した。							
以上の支出削減による経費をイベントや展示の備品購入費に充当することで、利用者に還元することができた。 (単位:千円)							
【支 出】		令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
事業費	計画	200	300	300	300	300	300
	実績	288	190	—	—	—	—
人件費	計画	18,100	18,172	18,590	18,908	19,225	19,471
	実績	17,212	17,899	—	—	—	—
施設維持 管理費	計画	6,058	7,408	7,058	6,958	6,758	6,808
	実績	6,402	7,502	—	—	—	—
一般管理 費等	計画	600	840	840	840	840	840
	実績	600	840	—	—	—	—
小計 (税抜)	計画	24,958	26,720	26,788	27,006	27,123	27,419
	実績	24,502	26,431				
消費税 額	計画	2,496	2,672	2,678	2,700	2,712	2,741
	実績	2,419	2,613	—	—	—	—
合計	計画	27,454	29,392	29,466	29,706	29,835	30,160

(税込)	実績	26,921	29,044	—	—	—	—
------	----	--------	--------	---	---	---	---

修繕費を可能な限り低減させるため、業者に頼まず、材料や部品の交換で修理可能なものは職員で行った。

(単位：千円)

【うち修繕費】	令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
計画	165	65	65	65	65	65
実績	163	132	—	—	—	—

※ ・・・評価対象年度

(2) 収入の増加

評価レベル
(0～5)

- ① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 使用料(利用料金)収入以外に、自主事業による収入や、企業などの外部からの収入(例：協賛金など)を獲得できているか。
- ③ 自主事業による収益を活用した施設の魅力向上などの投資や、サービス向上などの指定管理業務や市への収益還元の取組みがなされたか。

4

[評価の理由、要因・原因分析]

都市公園条例により入館料を定めているが、多くの方に自然環境の啓発活動を展開するため、入館料を無料としている。今までは、カヌー体験が大きな収入源であったが、天候に左右されるため、令和7年度より新たな自主事業を行い、収入の安定化を図った。

物販では、全国的なブームになっているシールの販売を行い、収入増加につながった。カフェも新メニューの追加により収益増加になった。

(単位：千円)

【収 入】		令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
指定管理 料収入	計画	25,653	27,600	27,538	27,702	27,696	27,955
	実績	25,653	27,668	—	—	—	—
自主事業 収益還元	計画	1,800	1,792	1,928	2,004	2,139	2,205
	実績	1,268	1,376	—	—	—	—
計	計画	27,453	29,392	29,466	29,706	29,835	30,160
	実績	26,921	29,044	—	—	—	—

<指定管理業務への収益還元の状況>

(単位：千円)

【実績】	令和6年度 (更新前)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
利益額	1,971	1,941	—	—	—	—
還元額	1,268	1,376	—	—	—	—

還元率	64.3%	70.9%	—	—	—	—
※ ・・・評価対象年度						
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み						
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況						評価レベル (0～5)
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。						4
② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。						
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						
今年度から正規職員を3名から4名に増やし、パート職員2名を加えた6人体制で管理運営を行った。事務改善や暴迫・人権・トラブル・安全管理などの職員研修を定期的に実施し職員の能力向上を図っており、高い利用者満足度（93％）を維持している。 もし少年自然の家、玄海青年の家、かぐめよし少年自然の家の指定管理も行っているため、相互支援体制を構築することで、人件費抑制と利用サービスの向上を行っている。 カヌー・SUP等の水辺で活動する団体と連携しながら、水上・河川敷のごみ拾いや、ダイバーによる水中のごみ拾いを実施し、水辺環境の改善を図っている。 講演会や講習会の要望があれば、市民センターや学校、他団体への講師派遣を行い、地域や関係団体の活動に貢献している。 また、幼稚園や小学校、中学校の見学や、JICAや企業の研修・視察の積極的な受け入れを行っている。						
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など						評価レベル (0～5)
① 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。						4
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。						
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。						
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。						
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。						
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。						
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						
個人情報の取扱いについては、法人として「個人情報保護管理規定」を策定しており、カヌー体験参加者等の個人情報を保管する書庫等の施錠管理や、不要となった個人情報の確実な廃棄等、適切な個人情報保護対策を講じている。						

また、人権・マナー研修を実施し、ホスピタリティあふれるサービスの実現に向けて取り組んでいる。

防災面では、定期的に防災訓練を実施し、防水板の設置や火災時の避難誘導を的確に行える体制を整えている。消防訓練については、同一建物内の企業と合同で実施しており、実際の火災発生時に近い状況を想定した、より実践的な訓練となっている。

また、館内に設置されている防水扉については、毎月開閉点検を実施するとともに、全職員が操作できるよう毎月訓練を行っている。当館は地下施設であり、大雨時には浸水等の危険があることから、利用者の安全確保のため、独自の緊急対応マニュアルを整備し、職員への周知を徹底している。

自主事業ではカヌー体験を行っており、水難事故を未然に防ぐため、「自然体験運行規定」を策定し、運行前の安全確認や気象予報に基づく運行基準、指導者の配置基準、安全管理体制等を定めている。自主事業においてこれを遵守するとともに、水辺で活動する他団体に対しても、必要な装備の携行等、安全対策の徹底を呼びかけている。さらに、防犯や事故等の発生に備え、AED 講習を実施するとともに、全職員が「普通救命講習修了証」を取得し、迅速に対応できる体制を整備している。

施設保全のための点検については、職員が日常的に実施し、安心・安全な施設運営に努めている。加えて、専門的な知見を要する設備機器等については、共同企業体の構成企業である専門業者による月 1 回の巡視点検を実施しており、異常の早期発見と良好な設備管理を実現している。

【総合評価】

【全体的な評価・今後の対応等】

令和 7 年度は二期目の初年度であるため、入館者目標を 220,000 人と目標値を高く設定していたが、228,726 人と目標値を超えることができた。理由としては、SNS での広報に力を入れ、LINE の公式アカウントを導入して集客・販促に努めたことや、体験型イベント「キッズクラブ」や紫川の文化・歴史を伝える講演会「流域はっしん！」などの新規イベントを開催したことが挙げられる。

また、紫川周辺にぎわい創出プロジェクトを盛り上げるため、市の様々なイベントに協力したことから、入館者が増加したと考えられる。

ほかにも、今まで中学校の来館は少なかったが、街歩きの拠点として利用されるよう、中学校に直接働きかけ、来館を促したことも効果があったと考える。

さらに、館内の生き物展示にも工夫を凝らし、館外でのカヌー体験など、紫川を知ってもらう活動にも力を入れたため、水環境館の設置目的である「川への理解を深め、楽しく遊んで学べる体験型の施設」としての役割を果たしている。

【評価レベル】

評価レベル		評価レベルの考え方
5	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営をおこなった

4		要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営をおこなった
3	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営をおこなった
2		要求水準・目標・計画を下回り、課題の残る管理運営となった
1		要求水準・目標・計画を大幅に下回り、大いに課題の残る管理運営となった
0	適切でない	不適切な管理運営となった

※この様式は外部にも公表する資料となります。